

各 位

株式会社ヤマダホールディングス

経済産業省が目指す、2050年カーボンニュートラルの実現と
社会変革を見据えた取り組みとしての

「GXリーグ基本構想」への賛同を表明

株式会社ヤマダホールディングス（本社：群馬県高崎市、代表取締役会長 兼 社長 CEO：山田 昇、以下、ヤマダホールディングス）は、経済産業省が公表した「GX（グリーントランスフォーメーション）リーグ基本構想」に賛同いたしました。

ヤマダホールディングスグループは、地球環境との共存が持続的な社会・経済の発展につながるという考えのもと、事業活動全体を通じた環境課題解決に取り組んでいます。省エネ家電や省エネ（ZEH）住宅販売の商品取扱いをはじめ、家電製品の販売からリユース・リサイクルまでの循環サイクルをグループ内で完結する等、社会全体の環境負荷低減に貢献しています。“暮らしまるごと”を支える企業グループとして、気候変動への対応を重要な戦略のひとつとして取り組む姿勢と、GXリーグの趣旨が合致しているものと考え、賛同を表明するものです。

■ 「GXリーグ基本構想」*とは

2050年カーボンニュートラル目標の実現と、世界全体のカーボンニュートラル実現に貢献しながら、産業競争力を高め、経済と環境の好循環を促す経済社会システム全体の変革（GX：グリーントランスフォーメーション）を牽引することのできる企業群を募り、議論と新たな市場の創造のための実践を行う場として経済産業省が「GXリーグ」*の設立を目指しています。

*経済産業省「GXリーグ基本構想」URL：

https://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/global_warming/GX-league/gx-league.html

ヤマダホールディングスは、グループ全体で気候変動対策への取り組みをさらに推進し、真に豊かで持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

以上

【発行元】株式会社ヤマダホールディングス 広報課

群馬県高崎市栄町1-1 電話：027-345-8947 FAX：027-345-8948